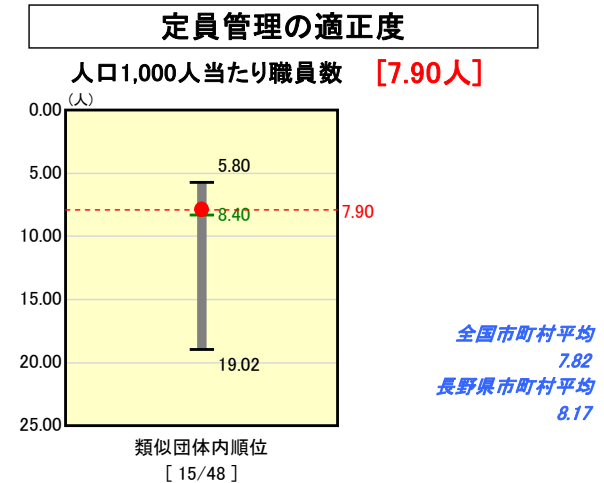
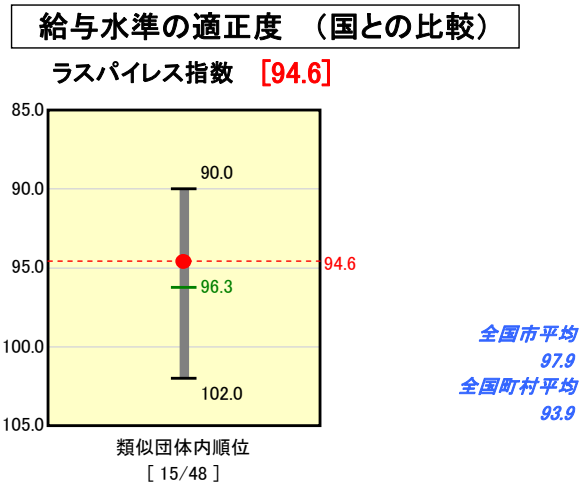
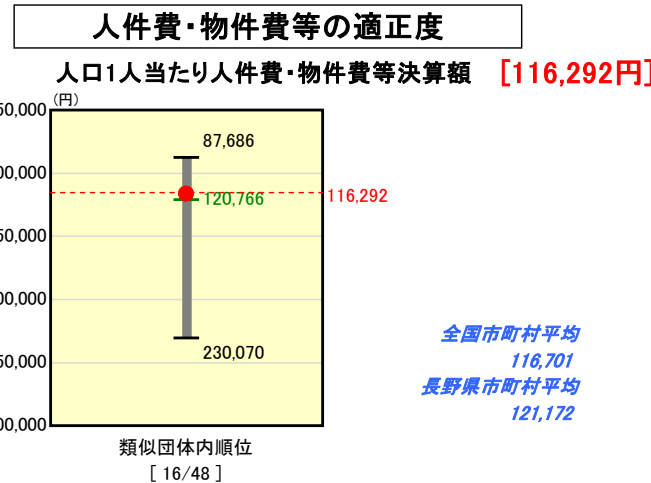
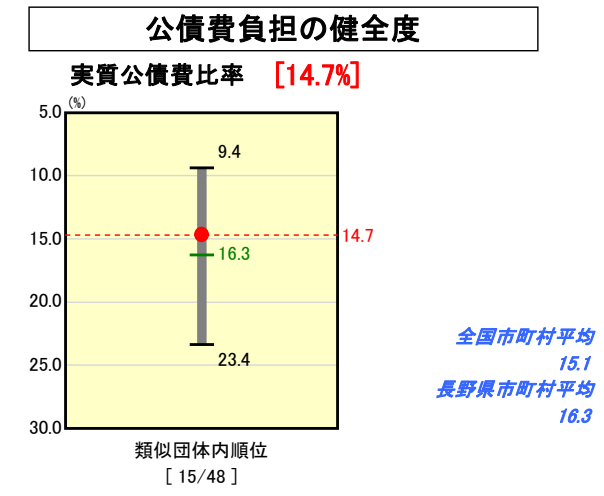
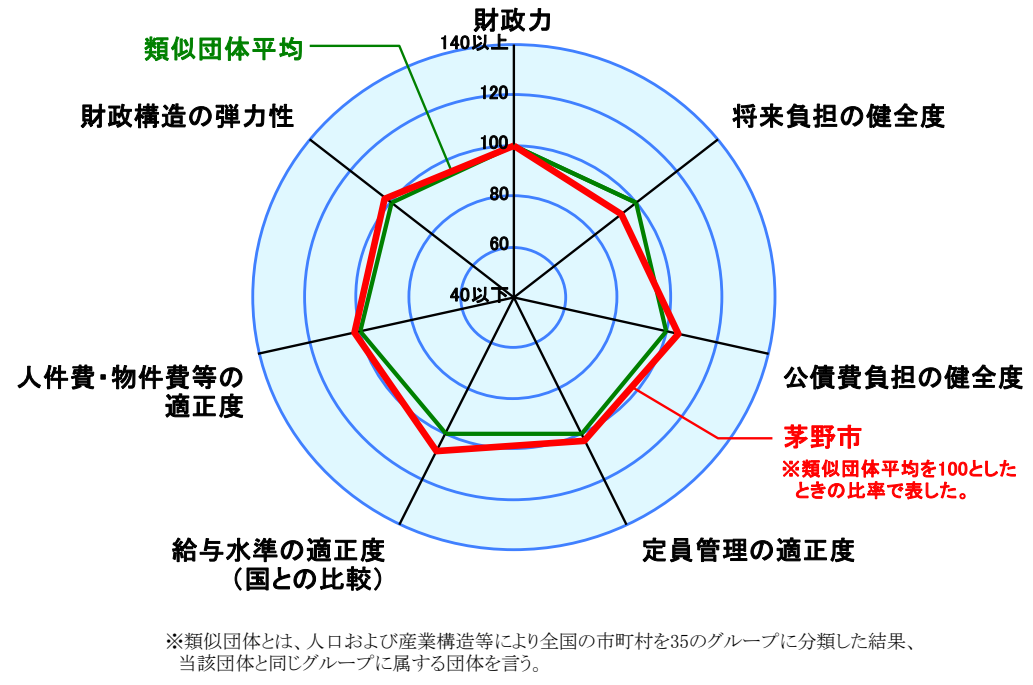
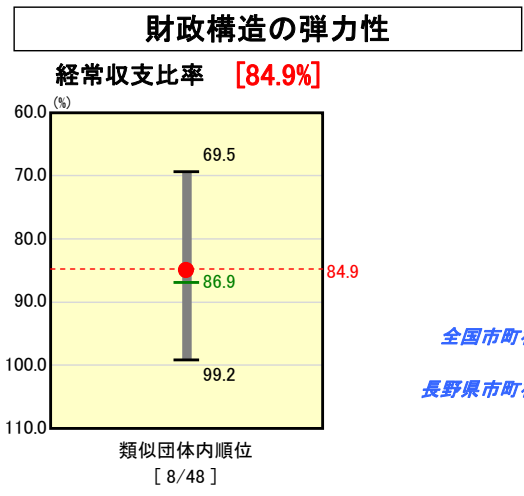
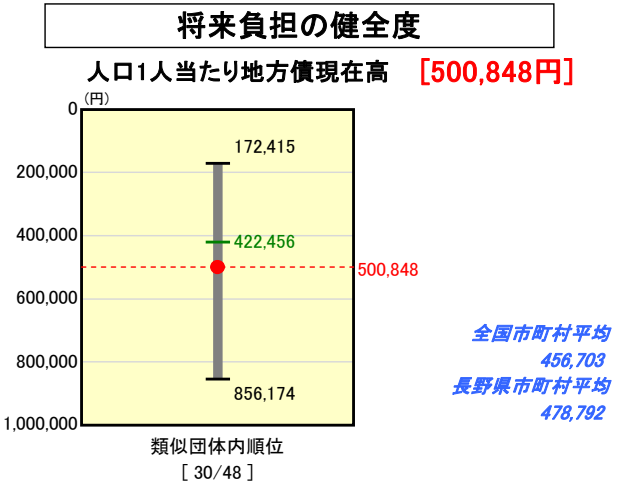
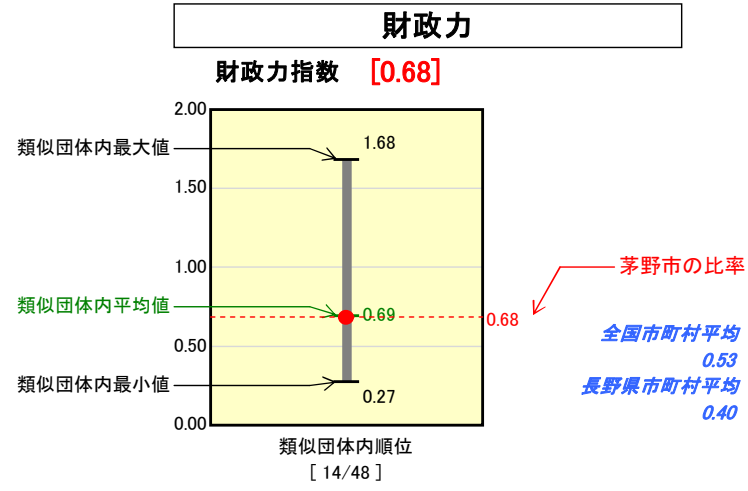


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 長野県 茅野市

人口	55,808人	(H19.3.31現在)
面積	266.41	km <sup>2</sup>
歳入総額	21,319,581	千円
歳出総額	20,576,718	千円
実質収支	666,795	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 安定した固定資産税の収入と景気回復による法人市民税の増加により、全国平均、長野県平均を上回っている。類似団体と比較すると平均的な水準である。

**経常収支比率:** 類似団体の平均を下回っているが、物件費、扶助費や公債費などの増加により年々悪化している(対前年度対比1.4ポイント上昇)。行財政改革への取り組みを通じて、人件費の削減、施設の維持管理等のアウトソーシングや繰上償還による公債費の抑制により、経常経費の削減に努める。

**ラスパイレース指数:** 全国平均より3.3ポイント低く、県内19市中で一番低い。類似団体と比較しても低い水準にある。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 類似団体平均を下回っている要因として、ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合等で行っていることが挙げられる。一部事務組合等の人件費や物件費等に充てる負担金を合計した場合、人口1人当たりの金額は増加することになる。今後もこれらを含めた経費について抑制していく。

**実質公債費比率:** 下水道事業特別会計の公債費に充当した繰出金の平成15年度分の比率が高かったが、平成16年度以降は比率が低くなったため、前年度と比べて0.4ポイント低下した。公債費のピーク時期を迎えているため平成23年度までは横ばいで推計するが、その後は減少していく。

**人口1人当たり地方債現在高:** 第3次茅野市総合計画に基づく大規模事業が概ね終了し、地方債残高は平成17年度をピークに減少に転じている。今後、新規発行債を抑制してプライマリーバランスをプラスにし、繰上償還も計画的に行い、財政の健全化に努める。

**人口1,000人当たり職員数:** 茅野市行財政改革プログラムでは、茅野市職員定員適正化計画(平成17年～平成21年度)に基づき、5年間で57人削減(約10%削減)を目標とし、平成21年4月1日現在の職員数を498人とする。平成19年4月1日現在で38人削減し、職員数は517人となっている。